



全国の支部特集	2
総会&リ・ユニオンのお知らせ ほか	5
追悼	6
広げようオベリンナーの輪	8
活躍するオベリンナー	9
清水安三先生随筆	10
ひろば／ご逝去された方々	11
Information／編集後記	12



桜と同窓会館

第3回 全国支部長会議を開催いたしました

詳細は
ウェブサイトへ

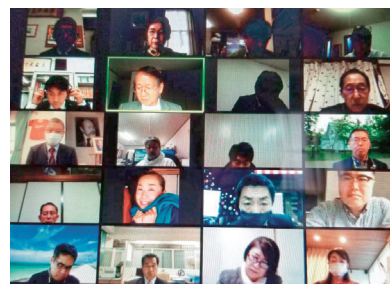


2021年1月23日（土）、Zoomによるオンラインで第3回全国支部長会議を開催いたしました。17支部のうち8支部と、支部設立準備中の青森と山形からも参加していただきました。学園からは大越前理事長、畑山学長、河本事業開発部長の参加をいただきました。大越前理事長はこれまでも全国の支部会に熱心にご出席いただいております。支部の方々とも信頼の上に関係を作ってくださいしています。今後も支部会へのご出席をお願いしたいと思います。山本会長あいさつの後、前理事長、学長からは学園の現状を話していただきました。同窓会からは100周年記念事業（5ページに関連記事）や校友会と同窓会の今後のかかわり方について報告いたしました。広報委員会からは「同窓会だより」への支部紹介記事掲載について報告しご協力をお願いしました。

今回の支部長会議ではアンケート回答を含め、さまざまなご要望をいただきました。幹事会で議論を重ね、ご期待に沿うよう対応してゆく所存です。

同窓会事務局としても

コロナ禍で活動が制限される中、初めての試みとしてオンラインで支部長会議が開催できたことを有意義にとらえております。これを機に全国の支部との繋がりをより深めるべく、今後もオンライン会議の継続を検討して行きたいと考えています。



Zoomによるオンライン支部長会議の様子。

組織推進委員会委員長 小椋行夫

■ 全国の支部特集 ■

詳細は
ウェブサイトへ



2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の見地から、各支部の支部会は残念ながら中止となりました。そこでコロナ終息後、同窓生の皆さまがお気軽に支部会にご参加いただけるように支部特集をお届けいたします。今号は全国に17ある支部のうち、9支部をご紹介します。ほかの支部もご紹介できるよう準備してまいります！

北海道支部

HOKKAIDO

発会年度：1981年。安三先生と立ち上げた支部です。

活動休止を経て、2004年に再発会しました。

支部会開催時期：毎年9～10月

会員数：439人

特徴・トピックス：支部の代表も若返り、独自の会員証を発行しています。SNSにて道内の同窓生の情報交換が活発に行われています。

メッセージ：広大な北海道の観光をイベントに合わせて、今後支部会のブロック開催も検討しています。同窓生の皆さん、ぜひ一緒に楽しみましょう！



宮城支部

MIYAGI

発会年度：2016年

支部会開催時期：2019年11月9日（前回）

会員数：272人

特徴・トピックス：伊達政宗が築いた城下町、杜の都・仙台。秋保温泉、松島、鳴子温泉、蔵王連峰などの観光地があり、支部会としては毎年広瀬川で芋煮会をやっています。

メッセージ：3か月に一度交流会など、活発に情報交換を行っています。若い方と年配の方が交流しやすいような工夫を凝らしていますので、皆さんからのお声がけをお待ちしております。





詳細は
ウェブサイトへ

千葉支部

CHIBA

発会年度：2003年

支部会開催時期：毎年2月第1土曜日

会員数：2,106人

特徴・トピックス：年齢や卒業年度に関係なく、多くの皆さまに参加していただいております。

メッセージ：自分たちが在学していたころの思い出、また現在の情報を共有していただければ幸いです。今後も多くの皆さまの参加を熱望し、企画して行きます。ご友人や知人をお誘いいただき気軽にご参加ください。



横浜支部

YOKOHAMA

発会年度：2008年

支部会開催時期：毎年9月第1土曜日

会員数：9,618人

特徴・トピックス：各方面で活躍している卒業生も多く、若い方もすぐに溶け込める支部です。

メッセージ：卒業生としての帰属意識の高いメンバーが、年代を超えた交流により仕事の協力や趣味を楽しんでいます。こうした繋がりは枝葉となって広がり、学園という幹を力強く支えていくものと確信しています。



相模原支部

SAGAMIHARA

発会年度：2017年

支部会開催時期：2019年11月24日（前回）

会員数：4,683人

特徴・トピックス：学園のお膝元で同窓生の数が多い支部として、定期的な支部会開催を検討中です。

メッセージ：支部会では舞台のある会場で地元のハーモニカグループの演奏や、大学の落語研究会による落語、司会者がスパイダーマンに扮装するなど初めて参加された方でもすぐに打ち解けられる楽しい会を催しております。ご参加をお待ちしています。



滋賀支部

SHIGA

発会年度：2011年

支部会開催時期：2016年1月23日（前回）

会員数：86人

特徴・トピックス：学園創立者清水安三先生の生誕地として、清水安三記念館や社会福祉法人清水安三福祉会との連携をとっています。

メッセージ：現在は安三記念館や清水安三顕彰会などの組織と連携して講演会やワークショップを行っています。今後は、新卒者の歓迎会など行いたいと思っています。皆さまぜひ足をお運びください。



大阪支部

OSAKA

発会年度：2010年

支部会開催時期：2019年10月26日（前回）

会員数：422人

特徴・トピックス：2018年より兵庫支部と合同リ・ユニオンを開催しています。前回は大越 孝前理事長にお越しいただき、小林 茂先生に在りし日の清水安三先生の講演をしていただきました。

メッセージ：多様なジャンルで活躍する同窓生が集い、楽しい交流を行っています。今後も学園関係者の方を招いて支部会を盛り上げていきます。ご参加をお待ちしています。



広島支部

HIROSHIMA

発会年度：2006年

支部会開催時期：2019年10月19日（前回）

会員数：207人

特徴・トピックス：桜美林卒の夫婦が友人らと始めた小さな会が支部発会のきっかけになりました。

メッセージ：これまで支部会を3回開催しました。ゆっくりとしたペースですが、懇親会を通じて会員相互の親睦を深めています。今後は福山市と広島市の交互で開催を検討しています。アットホームな支部会ですので、ぜひ皆さまのご参加をお待ちしています。



沖縄支部

OKINAWA

発会年度：2003年

支部会開催時期：毎年11月第3土曜日

会員数：488人

特徴・トピックス：年間を通じて温暖な気候に恵まれる日本屈指のリゾート地です。地元の沖縄国際大学との交換留学が活発になっており、支部会参加者も増加しています。

メッセージ：支部会は同窓生が集まりやすいように毎年時期と場所（那覇市「一鮮満」）を固定で開催しています。東京からの参加も多く、他県から赴任されている方もぜひご参加いただきますようご連絡をお待ちしております。



新たに発会を準備している地域

青森支部

AOMORI

発起人：栗谷川柳子（92短英卒）・西澤雄貴（08大健卒）

会員数：284人

メッセージ：他支部の皆さまのご意見を参考にしながら、お力をお借りして立ち上げをしていきたいと思ひます。青森在住の皆さまからのご連絡をお待ちしております。



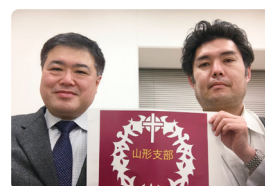
山形支部

YAMAGATA

発起人：手塚太一（92大商卒）・長南 守（97大中卒）

会員数：245人

メッセージ：山形在住の卒業生は少ないですが、発会に向けて準備していきたいと思ひます。皆さまからのご連絡をお待ちしております。



令和2年12月および令和3年1月の大雪により被害を受けられた方々に、心よりお見舞い申し上げます。



詳細は
ウェブサイトへ

同窓会からのお知らせ

「2021 総会 & リ・ユニオン」と 「還暦・古稀・喜寿・傘寿祝い礼拝」の 同日開催を予定しています

日時：6月12日（土）10:00～12:00

開催方法：町田キャンパス荊冠堂チャペル開催、もしくはオンライン（Zoomウェビナー）による開催

※昨年9月1日発行の『臨時号』にてお知らせしましたように、5月29日に予定していた帝国ホテルでの総会&リ・ユニオン開催はコロナ禍のため中止となりました。2021年度につきましては、上記開催日が近くなりましたら状況を判断し、同窓会ウェブサイトにてお知らせいたします。ご不明な点は同窓会事務局までお問い合わせください。

「オールオベリン未来ファンド」 支援プロジェクト 第1弾 「学業継続奨学金」を支援しました

コロナ禍により学業の継続が困難になった学生を応援したいという卒業生の強い想いから誕生した「オールオベリン未来ファンド」。本ファンドは、創立者清水安三・郁子先生の理想としたキリスト教主義と学而事人の精神のもと、「オベリンナーによるオベリンナーのためのファンド」としてスタートしました。同窓会は設立発起人として全面的にバックアップしています。本ファンドの支援内容は、社会情勢や学園内のニーズ等によってその都度検討され、柔軟に運用することで迅速かつ幅広い支援を目指しています。

支援プロジェクトの第1弾は、桜美林大学の学生を対象とした「学業継続奨学金」。コロナ禍によるアルバイト機会の喪失や、家計の急変によって学納金の支払いが困難になった学生に対して支給されました。このプロジェクトに同窓会は600万円を寄付しました。今後もさまざまな支援プロジェクトを通してオベリンナーの未来を応援してまいります。

下のQRコードから、寄付のお申し込み、詳細・奨学金受給者の感謝の声をお読みいただけます。ご支援は寄付金控除対象となります。皆さまの温かいご支援をお願いいたします。



寄付は
こちらから



詳細は
こちらから

桜美林学園創立100周年記念 同窓会プロジェクトスタート！

同窓会では学園創立100周年を記念して、下記の事業を企画しております。

1. 桜植樹プロジェクト

100周年を記念して100本の桜を植樹するプロジェクトです。本年1月29日に100周年事業の先陣を切って、故佐藤東洋士前理事長のご高配により、「けやきの広場」に1本目の桜を植樹させていただきました。今後学園と相談しながら町田キャンパスだけでなく、東京ひなたやまキャンパス、新宿キャンパスにも植樹していく予定です。桜植樹は同窓生個人でもご参加いただける事業として、継続的に実施してまいります。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



桜プロジェクト担当幹事 大沢則夫

2. 「記念誌」プロジェクト

学園を支えていく未来の同窓生のため、今年、65周年を迎える同窓会活動の歴史を綴った記念誌です（記念誌作成にあたり皆さまへお願いがございます。12ページをご覧ください）。

3. 石ころ庵修復プロジェクト

創立者清水安三先生の生き様と精神が刻まれている石ころ庵（安三先生が住まわれていた家屋）と、桜美林教会礼拝堂、川上記念教育会館等、学園の歴史を刻む建物を修復・整備する事業です。学園と共同事業として計画中です。

4. 中国・北京 陳経綸中学訪問ツアープロジェクト

創立者清水安三先生の軌跡を巡る旅。2022年春から秋ごろの実現を目指します。詳細については同窓会ウェブサイトに掲載いたします。

5. 清水安三先生関連書籍感想文プロジェクト

創立者清水安三・郁子先生の国際的な教育と思想を知ってもらう企画です。桜美林中学校・高等学校の生徒、さらに北京市にある崇貞学園を前身とする陳経綸中学校の生徒からも読書感想文を募集し、優秀作には賞品、賞状を授与します。

事務局移転のお知らせ

同窓会事務局は4月1日より栄光館2階に移転いたします。電話番号等、連絡方法の変更はございません。学園にお越しの際は、栄光館の同窓会事務局にお立ち寄りください。



追 悼

桜美林学園ならびに同窓会の発展に多大な貢献を果たされた
佐藤東洋士学園長・理事長が2020年10月18日にご逝去されました。
謹んでご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、感謝と哀悼の意を込めて追悼文を捧げます。

佐藤東洋士先生 Toyoshi Satow

1944年（昭和19年）8月13日 生まれ

1970年 3月 桜美林大学文学部英語英米文学科卒業

1973年 3月 日本大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程修了

2001年 8月 名誉文学博士（韓瑞大学）

2004年 5月 名誉教育学博士（オハイオドミニカン大学）

2005年 8月 名誉行政学博士（明知大学）

1993年 4月 桜美林大学副学長（1996年3月まで）

1996年 4月 桜美林大学学長（2012年3月まで）

2003年 5月 学校法人桜美林学園理事長

2012年 4月 学校法人桜美林学園学園長（桜美林大学総長）

2006～2012年 文部科学省学校法人運営調査委員会委員

2012～2016年 文部科学省大学設置・
学校法人審議会大学設置分科会長

2014～2017年 IAUP（世界大学総長協会）会長

文部科学省中央教育審議会大学分科会臨時委員

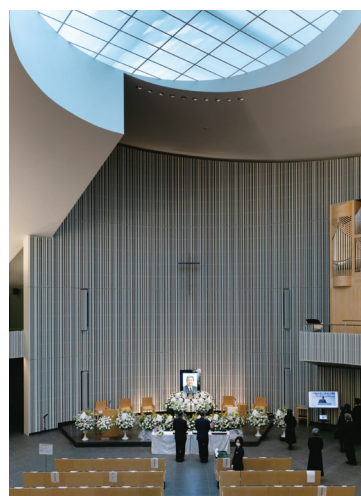
公益財団法人日本高等教育評価機構理事長

公益財団法人大学セミナーハウス理事

モンゴル国名誉領事 日本私立大学協会会長 などを歴任

2017年 4月 旭日重光章受章

2020年 10月 18日 召天 正四位叙位



11月13日から15日まで町田キャンパス
荊冠堂チャペル大礼拝堂に、献花の場が
設けられました。

佐藤東洋士先生を偲んで

大越 孝 第8代理事長／69大英卒

桜美林学園教職員一同と同窓会の皆さまと共に、天に召された佐藤東洋士先生に、謹んでお別れのメッセージを捧げます。

10月18日夕刻、佐藤先生の訃報に接し、一瞬言葉を失いました。病院で帰らぬ人となった佐藤先生と対面した時、深い悲しみの気持ちで、現実を受け止める心の整理ができませんでした。手術も無事終了し、程なく退院とのお話でしたので、お元気な佐藤先生との再会を楽しみにしていた矢先の訃報でした。佐藤先生との出会いは、大学時代までさかのぼり、今日まで50年以上のおつきあいでした。若い頃は、都会の学生らしくスマートな青年でした。仲の良い学友の一人が、身体的な障害を持った友人であった影響もあり、将来は障害者のために役立つ仕事がしたいと在学中から言っていました。



桜美林大学在学中の佐藤先生（右から3人目）1968年ごろ

大学卒業後、創立者清水安三先生に請われて桜美林学園に入職されました。生来抱いていた高等教育に対するビジョンを実現すべく、英語英米文学科の英語教育のパラダイムシフトに着手しました。その成果として「桜美林大学 English Language Program (ELP)」が誕生したのです。次いで国際学部立ち上げに昼夜を問わず没頭し、その結果、斬新な国際学部が設置認可されました。その後も、井門先生と共に学際的な国際学研究科の大学院を立ち上げました。佐藤先生の快進撃はとどまることなく、既存学部を解体し、現在の学群制への移行を成し遂げました。常に社会のニーズの一步先を見据えた大学運営は大学の先行モデルとして、桜美林ブランドの確立に多大な貢献をされました。大学教育への飽くなき情熱とビジョンを抱き、カリスマ的で強力なリーダーシップを発揮し、全力疾走した人生でした。

佐藤先生、もうあなたの情熱にあふれた姿も、優しいまなざしも目にすることは思い出の中でしかなくなってしまうました。佐藤先生のビジョンを継承・発展させることが私たちに残された課題です。くじけそうな時、励ましてくれたあなたの言葉を胸に、あなたの分まで精一杯これからの人生を生きてまいります。佐藤先生、かけがえのない思い出をありがとうございます。最後のお別れを言う時が訪れてしまいました。どうか、神様に祝され永遠の命にあずかって私たちを見守ってください。

在りし日の東洋士先生

リ・ユニオンや数々の同窓会行事、支部会へと積極的に足を運んでくださった東洋士先生。

感謝するとともに、心からご冥福をお祈りいたします。



箱根駅伝予選会 2015年10月



リ・ユニオン 2017年6月



アメフト部応援 2018年12月

広げようオベリンナーの輪

詳細は
こちらから



クラス会、クラブ活動OB会の活動をお知らせします

クラス会

昭和51年度高校卒業 3年H組クラス会

2019.8.24

町田ジーニーズにて昭和51年度高校卒業3年H組クラス会を開催しました。このクラス会開催のきっかけは、2018年学年全体同窓会の際「今度は藤井先生を囲んでクラス会を開きたいね」という声が多々上がったことでした。城所義雄さんが幹事を引き受けて、みんなに声をかけてくれました。その結果先生を含め27名が参加。藤井知子先生の変わらない笑顔を囲んで、楽しい時間を過ごしました。会が終わった後にはオンラインに城所さんへの感謝メールがいっぱい！藤井知子先生、ご参加ありがとうございました。城所さん、お世話さまでした。



鈴木千秋／76高校卒



OB会

高校野球部

2020.1.25

思い出話と近況が飛び交う



桜美林高等学校野球部OB会は平成17年に設立し、会員相互の親睦・交流および桜美林高校と野球部の応援を目的に活動しています。今回は15回目の総会・懇親会となり、「ベストウエスタン レンブラントホテル東京町田」にて開催。29歳～71歳という幅広い年代の約40人が集まりました。また、大越 孝高校長と長年にわたり応援いただいている小川康夫様にもご出席いただき、近況や思い出話などに花を咲かせ、アットホームな雰囲気の中、今後の野球部の活躍を期待する声などもいただき、心温まる時間となりました。締めは全員で校歌を大合唱！恒例の「にわか応援団長」によるエールも送りました。引き続き精一杯活動していく所存ですので、今後とも桜美林高等学校野球部並びにOB会へのご支援のほど、よろしくお願いいたします。

一條正浩／80高校卒



NEWS

アメフト部 関東1部TOP8リーグ2位!

2020.11.29

昨年11月29日にアメリカンフットボールの関東大学リーグ1部上位リーグTOP8の優勝決定戦がアミノバイタルフィールドで行われました。対戦相手は、桜美林同様に1部下位リーグのBIG8から昇格し、過去に21回も学生日本一になっている東の王者の日本大学フェニックス。勝利すると、関西の代表と学生日本一をかけて争う「甲子園ボウル」への出場が決まる大事な一戦は、おとしもBIG8の優勝決定戦で対戦し負けを喫した日大へのリベンジを兼ねた戦いとなりました。昨年は、夏に不慮の事故でチームメイトを失い、また、創部以来、我が部を愛してくださった佐藤理事長、元同窓会副会長の澤村さんが逝去されました。その悲しみを乗り越え、ス

タッフ、4年生を中心にチームが一つにまとまり、日頃の厳しい練習の成果をリーグ戦で発揮してきました。決戦の日、第3Qまで王者相手に3



点の僅差で食い下がるも結果は14-38で敗退。甲子園ボウル出場の目標はついえたが、我々が目指すのは学生日本一ですので、この成績は学生日本一という目標へのプロセスの一つと考え、来年は必ず目標を達成したいと思います。今年度も皆さまのご声援・ご支援をよろしくお願いいたします。数馬田 啓／94大國卒



活躍するオベリンナー

信楽焼 陶人形作家 葛原準子さん(75短英卒) 滋賀

清水安三先生の遠縁にあたり、先生と同郷の滋賀県から上京し桜美林短期大学英文科に入学。在学中は清水安三先生宅で過ごされたという葛原準子さん。学ぶことの大切さ、先を考えて行動することの重要性を安三先生から学んだ葛原さんは卒業後、縁あって信楽焼の窯元に嫁がれ、1998年より自らのブランド「陶房 準」を立ち上げ作品づくりを実践するようになりました。

葛原さんのつくる朗らかな表情の陶人形は、日本の歳時記を伝えるひな人形など季節の人形が多く、2004年にその分野で荣誉ある三木睦子賞を受賞。2007年には第76回信楽陶器総合展優秀賞、2008年の同展では京都新聞社賞などの受賞歴があり、現在も多数のメディアに取

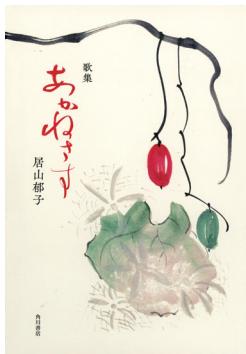


陶房 準にて作陶中の葛原さん。http://www.tohbo-jun.jp

日本文化を愛する歌人 居山郁子さん(63短英卒) 静岡

2019年10月、歌集『あかねさす』（角川文化振興財団）を上梓、令和2年の静岡県歌人協会賞を受賞されました。居山（本名：渡辺）さんは昭和19年生まれ、静岡県立沼

津西高等学校を経て桜美林短期大学英文科に入学。卒業後は、日本文化を学び合う「あすなろ教室」や、源氏物語を原文で読む「おのげんじセミナー」などを長年主宰され、現在は絵手紙



歌集 あかねさす 居山郁子 著
角川文化振興財団／2,600円（税別）
ISBN：978-4-0488-4301-0



左／心なごむ陶製の五月人形。右／モダンな陶ビーズのアクセサリ。

り上げられています。

2014年には釉薬の濃淡の美しさに魅せられ、身に着けたいという思いから陶製アクセサリの製作を始め、軽くて発色の良い陶土と釉薬が流れない焼成法を開発。2019年、イタリア・フィレンツェでの展示を成功させ、さらなるチャレンジを続けていらっしゃいます。

昨年2月には町田キャンパスの中庭にある儒学者・中江藤樹像の修復に携わられました。この座像は清水安三先生が信楽町を訪ねた際、町内の店に置かれていた信楽焼の陶像を気に入り、約45年前に葛原さんのご実父・平岡 昭さんが購入し寄贈したものです。中江藤樹は人々に分け隔てなく学問を教える塾を開いたことで「近江聖人」とも呼ばれる滋賀県の偉人。安三先生は幼い頃から中江藤樹を信奉していたといいます。葛原さんは像の欠落した部分を窯で焼き、ひびや退色も補修。「像の修復で、少しは安三先生に恩返しできたかなと思う」と不思議な縁を感じながらの学園への再訪を果たされました。

最近では滋賀県のモノづくりメンバーとして、東京での展示会や勉強会などの活動を通して、陶芸のおもしろさや伝統工芸の価値を発信する仕事もなさっています。葛原さんの今後ますますのご活躍を応援しております！

教室「茜塾」や沼津市で経営する画廊喫茶「からすうり」で諸作家の企画展を随時開催されています。

また、全国水墨画美術協会の評議員、手紙文学作家、短歌結社沃野同人など多方面でも活動され、全国水墨画秀作展では、秀作アカデミー賞、水墨画年鑑賞など多数受賞。主な著書には



画廊喫茶「からすうり」HPより。
https://www.karasuuri.net/

「茜いく子の絵手紙教室」「続 茜いく子の絵手紙教室」（ともに秀作社）があります。居山さんの幅広い活動、ますますのご活躍を今後も期待しております！

清水安三先生随筆

「基督教世界」

大正13年（1924年）8月14日

原文、難しい本漢字は略漢字に、旧仮名使いは新仮名
 使いに改めました。支那は中国に改め、難しい読み方
 には振り仮名を振り、送り仮名（ ）を付け加え、随
 時、句読点を付けました。

小林茂／51高校卒



一

日本から外遊して、欧米に到らないま
 でも、遠い上海まで出掛けた丈で、已に
 日本に対する態度が狂いを生ずる。すな
 わち日本を客観的に見る経験が、その狂
 いを生ぜしむるのである。日本より未だ
 足一歩を出さざる人達は、日本人という
 意識がかつきりと頭に響いて居らぬ。日
 本全体をずっと眺めて見る経験に乏しい。

況んや日本を批判し、日本に憤慨し、日
 本に愛想を吐かし、而して日本を祈ると
 というような切実なる経験を持ち難い。

されば井蛙の円天を礼讃する前に、井
 外に一步を踏み出す必要がある。これと
 同様の見地に於いて、日米問題をば、日
 米以外のわけて日米両者に関係深き中国
 より観察することは、最も興味あること
 ではあるまいか。日米両者を冷然、判決
 することが、とても日本人に参考たると
 思考する。

二

中国が日米問題を観察する時に、自ら

胸中万感交々来つて冷静ならしめんと欲
 して能わず、彼を思えば是を考えさせら
 れ、実に今更ら情緒纏綿たるものあるを
 感ずる。

二十年に米国は中国人を、その国より
 排斥し驅逐した。この度の移民案にも無
 論中国人が含まれている。日本の味わえ
 る経験は、中国人が己に体験せるもので
 ある。健忘症に如何ばかり富めばとて、
 四億の中国人を侮辱したる彼の経験は今
 猶忘るるところではない。

さればと言つて、日本は米国が中国人
 の移民を排斥する如く、その同様なる手
 段と方法に依つて中国人を日本から排斥
 せむとしている。否して居る。労働者の
 移民は勿論、留学者でも少しく、見すば
 らしい風貌を爲せる時は悉く追い帰えし
 て居る。手見せ金も二十円を五十円に、
 今は百円に吊上げて中国人の移住を防い
 で居るではないか。而も同色、同種の兄
 弟国民に対して、白人が黄人に対する態
 度を持つとは、何たることであるか。

日本は到底も白色人に対抗できぬもので
 あるから、黄色人にうつ憤を晴らして居
 るのではないか。外で癪に触つた亭主が
 家の女房に当り散らせると同然ではない
 か。

されば米国にも癪に触るが、日本にも
 あきれた物である。何れに組しても、何
 れに向うか甚だ迷わざるを得ぬ。この場
 合日中が協力して、米に反せば、自ら日
 中の問題を解決する様にも考えられる。
 しかし露西亞を東亜から追い出したる日
 本のやり口に依ると、決して、尻馬に乗
 るを許さぬ。日米問題を今更の如く冷静
 に考えられぬも道理ではあるまいか。

三

日本人は潔癖なることに於いて日本国
 民性の特長となしている。餘りに潔癖な
 るが故に、よく無いと称せられている国
 民ではないか。然るに、日本自国の同色
 同種の東方国民に対する態度を変えず、
 仕打を改良せずして、日本国民たるもの
 の顔あつて、日米問題を論ずることが
 できよう。生れ乍の潔癖性は怎うする。

友人の放蕩を忠告に及ぶ前に、自分の
 放蕩を止むる位は当前のことである。当
 前のことをするのが正義、人道でありは
 せぬか。正義人道は決して奇抜なる、複
 雑なる芸当ではない。自己を責むるには
 厳、他を容るるに寛、それは我等兼々の
 主張ではないか。わたくしは怎うしても
 日本人の排米思想を理解することができ
 ぬ。実際日本人の心事を疑う日本人が白
 人の国際帝国主義を隣国黄色民族に応用
 したるが爲に、今日の如く、日本は窮境

に陥つたのではないか。その過去の苦い
 経験が未だ解らないのであるか。

四

わけて基督教会の排米には共鳴できぬ。
 中国の基督教徒は日本に開かれたるSS
 (サンデースクール)世界大会にすら代
 表を出さなかつた。宣教師すらも誰一人
 行こうと決心せなかつた。大阪に開催せ
 られしオリンピック大会ですら、中国人
 選手はやつて来たではないか。基督教は
 マラソンよりも、世界的ではないという
 のか。

中国の基督教徒を笑えぬ。日本の基督
 教徒にして、排米に立ち上つて得意な
 人々が居る。全日本人が喧嘩腰になつて
 も、基督教徒だけなりとも、愛をかみ碎
 いて居ればよいではないか。欧州大戦ノ
 折に、ロマンローラン一人が、非戦論を
 称した。私達が文学を通して、宗教を求
 むる青年達の心理に理解が持てるのも、
 この辺にある。

排米だから主戦でないと仰有るか。戦
 わなくとも、問題は自分の欠点を見付
 け、改革せばそれで充分ではないか。人
 を義する勿れというのではないか。私達
 は日米問題に憤慨する前に自らを耶蘇に
 従はしめむと願う。今頃旧約のテキスト
 等引っぱり出して排米をオーソライズされ
 たかあない。

我等は米人悉くが、罪惡に陥つても
 荒々しい言葉を用い度くない。「仇を返
 えすは我にあり」ではない。我等は恩讐
 の彼方に生きむと願う。

(一九二四・七・廿九)

皆さまからのお便り ひろば

若林祥子／48女学校卒

(東京都)

長い間同窓会だよりをお送りくださりましてありがとうございます。
私は創立時代の入学で、それから安三先生の事務所で働いていま
した。その頃は、尾根緑道までを先生が復活の丘と申されてました。
それから前のスクールバスの桜の花びらは私が図案したものです。

宮澤益子／66短英卒

(神奈川県)

学園を卒業して早、50年以上となりました。送ってくださるオリ
リンナーを拝見して、学園の素晴らしい発展に、目を見張るばかり
です。立派に成長した学園を嬉しく思います。私の心には四年制
大学のために学生と一緒に図書館へ本を運んだことが懐かしい思い
出です。若き人々に夢と希望を与えられる学園でありますように。

寺尾史子／61短英卒

(神奈川県)

新型コロナウイルスのせいで同窓会の行事もいろいろ大変なことにな
っていることでしょう。事務局の皆さまのご苦労をお察します。
十分にご自愛くださいますように。来年の傘寿祝い礼拝に出席でき
るように私も健康には十分留意し、外出自粛してウイルス禍をやり
過ごそうかと思っております。

清水与志雄／76大商卒

(福島県)

いつも学園の様子を伝えてくださりありがとうございます。埼玉行
田から宮城仙台へと移り、そして今度は福島です。豊かな自然に囲
まれてHappyな気分を味わっています。

小林文枝／01大BM卒

(埼玉県)

いつも懐かしく拝見しております。桜美林での友人は今も変わらず
仲良くしており、その友人たちと会うと学生時代に戻れます。今は
なかなか会えませんが、また元に戻った暁には大学祭などにも皆で
行きたいものです。

住吉玲子／67短家卒

(神奈川県)

同窓会だよりをお送りくださりましてありがとうございます。昭和
42年度家政科卒業生の住吉玲子と申します(旧姓鈴木)。2年間で学
生として2年間で真珠館で川島先生および調理の助手をさせていた
だきました。高垣牧師、山本充子先生、佐藤東洋士さん、古城映子
さん、清水芳枝さんの名前が浮かんでまいります。2020年2月22日
体育科の山本充子先生がご逝去されましたのでご報告申し上げます。

砂原奈美子／89高校卒

(東京都)

同窓会だよりの、安三先生随筆を、いつも貴重に思いつつ読んでい
ます(この時代の人々の姿が生き生きと書かれている文章には、あ
まり触れないので)。今後の日本が、安三先生が望まれたような日
本になるよう、願っています。

上野晃裕／81大経卒

(岡山県)

30年経営し続けています会社に加え、5年前からお付き合いのある
岡山市の会社の代表取締役副社長にこの度就任しました。合わせて、
数校の大学、各種学校においても公務員、教採の講座を担当させて
いただき大学のSD研修も依頼を受けて忙しくやらせてもらってい
ます。生涯現役!! がんばります。

ご逝去された方々 謹んでご冥福をお祈りいたします。

卒業生は敬称略

()内は旧姓 []内は逝去年月

佐藤東洋士学園長・理事長

..... 69大英卒〔20.10〕

泉 昌一 元国際学部教授

山本充子 元大学体育科教諭〔20.02〕

恒川加代子 元高校教諭.....66高校卒〔21.01〕

野中精工^{きよえ} 元高校教諭〔20.07〕

高垣芳美 元幼稚園教諭〔21.01〕

倉橋(松実)文子 72大英卒〔20.01〕

三谷博康 76大商卒〔20.03〕

小川(大貫)サヨ子 51洋裁卒〔19.06〕

田之上 勉83高校卒

草深(半田)真知子 69高校卒〔19.11〕

青木(高玉)典子 73短家卒〔20.02〕

大澤正司 60短英卒〔16.06〕

田村珠美 00大BM卒〔19.11〕

忍足(網野)富美子 56高校卒〔19.10〕

武田弘治 50中学卒〔20.01〕

阿部啓祐 77大経卒〔19.12〕

大伴(前田)恵子 56短家卒〔19.01〕

伊東 祐 54高校卒〔19.11〕

秦 伸明 76高校卒〔19.03〕

平 和恵 68高校卒

備前六郎 54短英卒〔20.02〕

小金澤 浩 97大商卒〔08.〕

小林洋一 66高校卒〔19.11〕

長島 洋 62高校卒〔19.12〕

甲野(牧島)幸子 67短英卒〔19.12〕

高見沢一弘 50中学卒〔20.05〕

江口 誠 81高校卒〔17.10〕

澤村克実 74大経卒〔20.07〕

鹿島治男 65高校卒〔20.05〕

伊藤育代 53高校卒〔20.08〕

佐藤(天野)洋子 59短家卒〔20.06〕

柴田光春 49中学卒

小林みさえ 73短家卒〔19.06〕

持田龍一 98高校卒〔18.06〕

小宮美智子 77短英卒

不破 宏 59高校卒

石橋美和子 64短英卒〔20.09〕

塚原(宇井)雅世 80短英卒〔11.〕

佐藤充司 48中学卒〔20.03〕

杉山祐二 75高校卒〔20.06〕

石黒一夫 68高校卒〔20.07〕

三浦健二 79大経卒〔20.06〕

中村(増田)年子 43崇貞卒

井上(矢口)政子 49中学卒〔20.05〕

鈴木(井上)三津江 48中学卒〔19.04〕

千葉静男 77大商卒

小林(花形)恵美子 61高校卒〔20.11〕

三浦(鈴木)由貴子 75短英卒〔20.03〕

松尾淳一 92大中卒〔20.06〕

INFORMATION

会員の皆さまの個人情報の取り扱いについて

同窓会では、皆さまの個人情報につきまして、学園のプライバシーポリシーに基づき厳重な管理をしており、会員名簿の発行は1996年に作成したものを最後にいっさい行っておりません。しかし、過去に発行した同窓会会員名簿や卒業生名簿が一部の名簿業者に渡り、その名簿を購入した企業より、営業目的のDMや電話があったとの情報が事務局まで寄せられています。名簿の保管には充分ご注意ください、第三者への譲渡や販売はお控えくださいますようお願い申し上げます。またDMや電話から、その企業へ名簿を提供した業者が特定できた場合、お申し出により名簿記載事項の削除を求めることができます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

特別会費納入のお願い

同窓会では会費納入規程第4条に基づき、学園をご卒業後10年、20年、30年の同窓生に各5,000円もしくは初回時（卒業後10年）に永年会費として10,000円の納入をお願いしております。皆さまからお預かりした特別会費は「同窓会だより」の発行や同窓会の諸活動、また学園支援に幅広く活用させていただいております。今後もさらなる同窓会発展のために努力してまいりますので何卒ご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

〈特別会費納入対象卒業年度〉

●1990年度卒業生 ●2000年度卒業生 ●2010年度卒業生

※卒業年度は会員番号上2桁でご確認ください。

※会員番号は宛名ラベルのお名前の下に8桁の数字とアルファベットで記載しています。

〈送金方法〉

銀行振込／三菱UFJ銀行 町田支店 普通 口座番号：4591073

口座名義：特別会費 桜美林学園同窓会 代表者 山本美浩

※振込依頼者の後に会員番号を追記してください。

携帯からのご送金など追記できない場合は不要です。

100周年事業「記念誌」プロジェクトへ 写真・資料などをお寄せください!

同窓会では創立100周年にあたり、同窓会記念誌を作成しております。つきましては、皆さまから学園と同窓会にまつわる写真や資料などがございましたら、寄贈していただくようお願い申し上げます。その時のエピソードも添えてお送りいただきますと幸いです。

〈お願い〉

- 寄贈いただきました写真・資料の返却はいたしかねます。
- 記念誌への掲載をご承諾の上、寄贈をお願いいたします。
- 寄贈に際しまして、大変恐縮ですが送料のご負担をお願いいたします。

〈お問い合わせ・ご送付先〉

桜美林学園同窓会

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758

☎042-797-1632 メール：alumni@obirin.ac.jp



同窓会関連の行事（例えば、桜まつり等）の写真や資料などの寄贈をお待ちしております。

事務局より会員の皆さまへ

転居など、個人情報の変更手続きは、同窓会ウェブサイトの専用フォームをご活用ください。ウェブサイトをご覧になれない方は、桜美林学園同窓会事務局までご連絡ください。

お電話でのお問い合わせ／☎042-797-1632 (9:00～16:00)

メールでのお問い合わせ／alumni@obirin.ac.jp

ウェブサイト／<https://www.obirin.jp/alumni>

移転後の2021年4月1日以降も上記連絡先は変更ありません。



特別会費をご納付いただいた皆さま 敬称略

村山自子／69大中卒	田中史朗／89高校卒
沼田奈々子／80短英卒	大河原康隆／89中学卒
萩原桃子／89大英卒	田中恵美／07大言卒
梶田めぐみ／89短英卒	渋谷駿一／08高校卒
岩淵靖子／89短英卒	佐野裕美／09大言卒

感謝の誌代 敬称略

藤田ナツ子／59短家卒…………… 10,000円

編集後記

1921年、北京市朝陽門外に「崇貞学園」が設立され、100周年を迎えました。創立者清水安三先生は、ヴォーリス先生と出会い、宣教師として中国へ向かい、崇貞学園を設立。戦後中国に接収されてしまいましたが、帰国後、賀川牧師と出会い桜美林学園を開校。いま、母校は大きく発展しました。人生は、出会いと別れ、喜びと悲しみ。学園を力強く成長させた佐藤東洋士理事長が昨年ご逝去されました。世界はコロナ禍で辛い日々を強いられています。安三先生がよく言われた「せん方尽くれども希望を失わず」を心に、今こそ前を向いて歩んでいかなくてはならないと思います。 広報委員長 井伊公友